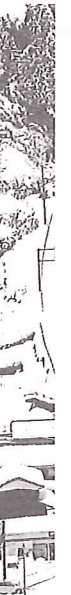


本格的行政の雪の大記録的な年と似通性がある関係なる「スタック」が頻発する箇所の情報も参考にする。除雪優先区間を設定し、事態悪化が予想される

行政電



記録的大雪で除雪が間に合わず、国道9号で立ち往生する車列。2011年1月1日、鳥取県大山町(共同通信社へリから資料)

出雲に残土処理新施設

地元建設業者の負担軽減

きょうから操業

公共工事などで発生した残土の処理施設が従来なかった出雲市内で2日、新たな処理施設が操業を始める。同市平田町の産業廃棄物処分業者「ReiFLEX」が遊休農地や山林など計1.7畝を取得して整備した。市内では、市が財政支援した民間処理施設が公共事業の減少などで2015年3月に廃止されており、地元建設業者らは他地域の処理場への搬送や、自社で処分場を確保する負担が軽減されると期待している。

「ソイルパークひらた」と名付けた施設は、出雲市小境町の市道沿いの遊休農地などを造成して開設。受け入れ処理量は9万立方メートル、残土1立方メートルあたり1500円で受け入れる。運営するReiFLEXは、旧平田市の建設業者が共同出資して設立した。

出雲市内では05年度、市が確保した1.4畝で、地元建設業者48社が出資して設立した会社が残土処理施設を操業開始。市は借地料免除などの支援を行ったが、受け入れ残土が計画を大幅に下回るなどして赤字が続ぎ、15年3月に廃止された。

この結果、市内では残土の定員は、短大部が保育、松江キャンパスの新課程

処理施設がなくなり、建設業者らは、松江市や雲南市などの処理場に搬送して処理したり、自社で処分場所を確保したりする必要があったという。

山崎社長は地元業者の負担軽減に加え、広島市内で14年に発生した土砂災害で土砂の処理先を確保できず、復旧が遅れたのを踏まえ、「万が一の場合の備え」としても、処理施設は地域に不可欠とした。発生し

た土に鋳物の廃砂などを混ぜ、道路工事の盛り土材などとしてリサイクル販売することも計画している。

島根県内では従来、国や自治体の発注工事が出た残土は、少なくとも五つある民間施設に搬送して処分するなどしている。

島根県の高校魅力化事業などをきっかけに増えている県外から入学生の住居あ

る県外から入学生の住居あつせんについて、同県の鴨木朗教育長は1日の県議会答弁で、来年度にも県外生枠を撤廃した全19校が、寄

短大部に四年部編入制度

島根県立大 松江キャンパス

定員の1割程度

島根県は1日、2018年度に一部四年制化する県立大短期大学部(松江市浜乃木7丁目、松江キャンパス)に関し、短大部の保育、総合文化学科を卒業後に、同大学の四年制学部へ編入できる制度を設ける方針を示した。新課程開始から2年後の20年度で定員は保育系4人程度、文化系7人程度を予定する。

松尾部長は、編入制度を設ける理由を「意欲のある学生に高度な教育を提供する意味で、有意義な制度」と説明。短大部に入学した以降に四年制の卒業を目指す学生に門戸を開き、編入枠は、国の方針を踏まえ四年制定員の1割程度とした。

また、定員50人の保育学科が新課程で10人減となり、学校現場などから定数維持を求める声があることに対しては「四年制ス

た。後にも高校生や進路指導教員、事業者のニーズを引き続き把握しながら、定員について柔軟に検討したい」との見解を改めて示した。

山川氏が出馬表明

米子市長選

任期満了に伴う来春の米子市長選に、市議で新人の山川智帆氏(39)が米子市皆生温泉1丁目が1日、無所属での立候補を表明した。JR米子駅南北一体化事業や市営湊山球場の国史跡追加指定の是非を問う住民投票を行う考えを強調した。

鳥取大医学部を中心とする医療施設や皆生温泉など地域資源を生かしたまちづくりを目指すという。

市役所で会見し、南北一体化事業などについて、市が市民の合意を得ずに進

められていると批判。市政を刷新する候補が立候補しそうなないとして「無投票で住民を無視したやり方はいけない」と出馬動機を語った。

米子市長選は、2010年2月20日初当選し2期連続で市長に就任した。市選を巡る野坂康夫市長が今限りで

向。公認会計士木隆司氏(43)が立候補を表明し



ReiFLEXが開業させる残土などの処理施設。出雲市小境町

山陰総合

購読の申し込みは

TEL0120(49)25550(午前9時30分~午後5時30分)